

川内便り

【発行責任者】福岡さつま川内会会長 新留育郎 ☎090-5472-4881
【事務局】代表幹事 窪田早成 ☎090-2659-5836 (くぼた総合法律事務所)



川内川あらし

第11回福岡さつま川内会総会&交流会 令和5年2月19日(日)八仙閣本店

薩摩川内市長、薩摩川内市議会議長、川内商工会議所会頭を迎え 対面式の交流会を3年ぶりに開催 故郷との交流を深めました

当会の総会&交流会は、11時30分より、薩摩川内市から、田中良二市長・福元一也副市長、大田黒博市議会議長・中島由美子副議長、橋口知章川内商工会議所会頭はじめ関係スタッフの皆さまを迎え、総勢57名の参加で3年ぶり、盛会裏に開催されました。

総会では、2022年度の活動・会計報告並びに2023年度活動計画と役員改選の審議が行われ、何れも提案通り承認されました。続く交流会では、新留会長挨拶の後、市長・議長・会頭から、「今、薩摩川内市は県下で一番元気があり、各市町村から注目されている」と夫々の立場から薩摩川内市の現状と今後の展望についてお話がありました。アフターコロナを見据えた様々な取り組みが着々と進められており、この秋は、伝統の祭りや国体で賑わいそうです。

当会発足に協力頂いた岩切秀雄氏(前・薩摩川内市長)のご発声による乾杯のあと、食事しながら、会員の近況報告や法人会員の会社概要説明に耳を傾け、故郷やお互いを知る有意義な発表会になりました。その後、薩摩川内市、川内商工会議所、山元酒造株式会社からご提供いただいた故郷特産品などの幸運を呼ぶ福引会があり、和やかな楽しいひと時を過ごしました。

今回の交流会は、コロナ対策もあって、2時間以内で、広めの会場で、お酒抜き(ビールで乾杯のみ)で、中華会席料理を食べながらの情報発表会の形式で行われましたが、参加者からは、「故郷や会員のことをよく知ることができて身近に感じられた。こんな交流会もいいね」と好評でした。参加者は、五代焼酎小瓶とあくまきのお土産を手に、故郷に想いを馳せながら、にっこり顔で帰途につきました。



福岡さつま川内会 会長挨拶

会員間交流と故郷応援の輪を上げよう

本日は、薩摩川内市より、市長様、市議会議長様、商工会議所会頭様はじめ市の要職にあられる皆さま方、ならびに前市長の岩切様、川内出身の鹿児島銀行専務の碓山様にご臨席賜りまして、まことあいがともしゃげました。皆さま方の地域振興への意気込みを痛切に感じて、「こりゃ、故郷を応援せんといかんぞ!」と心新たに致した次第です。本交流会は、コロナの影響で3年ぶりの開催となりましたが、多くの会員の皆様にご出席頂き大変心強く、皆さま方の変わらぬご支援ご協力に厚くお礼申し上げます。

当会は10年前、薩摩川内に縁のある福岡在住者の交流の場、故郷応援の場として設立されました。故郷のニュースがメディアで流れると「見たけ!」とメールが飛び交い、大河ドラマ家康が始まると、「服部半蔵役の山田孝之は川内南中じゃど!」と自慢する故郷大好きが集まりです。「故郷は、いっずいでん元気であつて欲しいか!」と願っています。

私たちはこの思いを大切に、持ちつ持たれつで精神で交流を深め、故郷応援団として支援して参りました。これからの2年間、新役員の皆さんと協力し、①交流の場を増やす ②会員情報・故郷情報を発信する ③会員を増やす の三つを重点に、あんまり無理ななか所で、お互いが楽しみながら活動して参ります。そこで皆様にはお願いですが、福岡在住の薩摩川内市に縁のある人とお店・会社をご紹介ください。また、皆様の近況やお知らせごと、故郷の情報等をお寄せください。交流と支援の輪を広げるには、情報を発信し、お互いを知ることが一番だと思うからです。

今、福岡は天神ビッグバンにより高層ビルの建設ラッシュで、新しい街づくりが進んでいます。福岡韓国間の空の便は、昨年9月の70便が12月には830便に増えて海外観光客も回復し、商店街はコロナ前に戻って店には行列ができています。

コロナ禍にあって地方分散の気配が微かに見えたものの、やはり都市の一極集中は避けられそうもありません。人口減少、都市の一極集中が進む中で、地方都市や中小企業が持続的発展を遂げていくには厳しい現実があります。でも、大丈夫!。

今年、会社員生活55年・77歳になる私は、今も若い経営者や社員の皆さんと一緒に仕事していますが、若い人たちの発想力、デジタル技能、起業意欲には感心させられます。若い人たちと知見豊かなベテランが、びんたを使って、けしんかぎい気張ればなんとかなります。せんでガラッパですから。明治維新を成し遂げた薩摩隼人・薩摩おごじよですから。

当会も、「30・40・50代の若い会員が増えて、若い会員とベテラン会員が持ちつ持たれつ、共に元気になるような会」になればいいなと思っています。

本日はコロナ感染対策上、このような発表会形式の交流会にしましたが、お互いを知り親睦を深めるいい機会となれば嬉しいです。今後ともご支援ご協力よろしゅう頼のんみやげもんで。(2023.2.19 総会&交流会・新留育郎会長挨拶より)

2023年度活動計画

1. 会員を増やす
会員が当会をPRし、入会を呼び掛ける
2. 会報「川内だより」発行 → 年2回
故郷情報・会員情報・お知らせ等を広く発信する
3. 会員交流会の活発化
・拡大役員会(4・7・10・12月第2金曜に開催)
→役員に限らず会員の参加歓迎!(ランチ会)
・野球観戦会・芸術鑑賞会など企画し案内する
4. 故郷巡りツアー企画・案内 → 年2回(夏と秋)
・甕島めぐりモニターツアー1泊2日
・薩摩川内はんや祭り&市内名所視察
5. 故郷特産品PRと販売協力
・故郷特産品定期便配布(12月頃)
・金柑など特産品の共同購入企画販売
・福岡開催の観光物産展案内(PRと売上協力)
6. ふるさと納税PRと利用協力
7. 会員間及び薩摩川内市との情報交換促進
・会員のオンライン登録(メルアド名簿)
・福岡さつま川内会ホームページ制作検討
8. きばいやんせ薩摩川内 ☘ ご利用特典サービス
サービス加盟店を増し会員に利用を呼び掛ける



きばいやんせ薩摩川内 ☘ ご利用特典サービス加盟店
ご利用時・お買い物時に、会員証をご提示ください
(5%割引・ワンドリンクサービス等の特典があります)

- 【川内駅】S CUBE HOTEL by SHIROYAMA 0996-25-5225
- 【川内駅】駅市薩摩川内(土産専門店) 通販 0996-29-4430
- 【下甕島】こしき海洋深層水(株) 通販 0120-549-375
- 【蘭牟田】松田農場(金柑) 通販 0996-56-0426
- 【網津町】檜木商店(海産物) 通販 0996-26-2227
- 【糸島市】古材の森(レストラン) 予約 092-321-4717



薩摩川内市の最近の動き

今、薩摩川内市は、県下で一番元気があり、各市町村から注目されている 街づくり計画について、古川英利 薩摩川内市未来政策部長から、元気の出るお話がありました

京セラ・鹿児島川内工場第23工場増設



- 令和4年4月20日 立地協定締結
- 延床面積 65,530㎡
- 投資予定額 625億円
- 新規雇用者 400名
- 操業開始 令和5年10月予定

薩摩川内SDGsチャレンジ

- 令和3年6月8日SDGs・カーボンニュートラル宣言
- 令和4年5月20日SDGs未来都市選定(写真右)
- 同年7月26日サーキュラーパーク九州(川内発電所跡地活用)の実現に向けた連携協定締結
- 同年12月16日薩摩川内市SDGsチャレンジ協議会を設立



田中市長と野田地方創生担当大臣

循環経済・産業拠点の創出～川内港臨海ゾーン整備

アフターコロナを見据え5つの薩摩川内市の中期的展望(市長戦略方針)

- ①重要港湾川内港「唐浜地区国際物流ターミナル整備事業」令和9年度迄
令和4年4月川内港唐浜地区国際物流ターミナル着工式
- ②川内港背後地(川内火力発電所跡地)利活用事業 令和4年7月協定締結
- ③川内港久見崎みらいゾーン開発事業 令和5年1月分譲開始
- ④南九州西回り自動車道 令和5年2月網津トンネル貫通式
- ⑤川内港アクセス道路・川内宮之城道路～川内港から湯田西方IC(仮称)経由
令和4年12月川内宮之城道路建設促進期成会設立



昨年のイベント開催 → 今年はコロナ前を上回る規模で盛大に開催予定!!

8月16日川内川花火大会	9月22日川内大綱引(綱練りのみ)
10月9日市民運動会(特別大会)	11月27日市比野温泉よさこい祭り
11月6日薩摩川内はんやまつり	※市民運動会は5年ぶり、他は3年ぶり開催

燃ゆる感動がごしま国体 → 薩摩川内市競技日程: 令和5年10月8日～10月16日

ホッケー	樋脇屋外人工芝競技場丸山自然公園人工芝コート
バスケットボール & 空手道	サンアリーナせんだい
軟式野球	総合運動公園野球場
ウエイトリフティング	入来総合運動場体育館

交流会での発表内容		交流会では、会員企業の概要や事業展開、故郷のホットニュース等を発表してもらいました。参加者にも大変好評でした。来年の総会&交流会でも、こうした企画を続けたいと思います
交流会での発表内容 会員を知ろう！故郷を知ろう！		
① 薩摩川内はんや祭り & 甕島視察旅行	1泊2日の故郷巡りに大満足 華やかな薩摩川内歴史絵巻行列・はんや総踊り、悠久の時間が刻まれた甕島の断崖や奇岩・巨岩が織りなす景観は迫力満点でした	福岡さつま川内会副会長 香月 揚子
② S CUBE HOTEL by SHIROYAMA	利便性・快適性・機能性を備えたシティ&ビジネスホテル 川内駅・SSプラザせんだいと隣接したワンランク上のシティホテルが旅の元気と幸せをサポートします	株式会社薩摩川内 代表取締役総支配人 渡 健
③ 油機エンジニアリング株式会社	経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業者300社」受賞しました 新しいものを建てる。古き良き物は活かして使う。建設解体機械のレンタル/販売	代表取締役 牧田 尚起
④ 荒木商事 株式会社	23年ぶりに向田祇園まつりを復活 ～歴史と伝統、文化を次世代に受け継ぐ～ 創業100余年の伝統と格式を重んじ 地域の暮らしを支えるエネルギー産業を担う	代表取締役 荒木 貞行
⑤ 有限会社 阿蘇蔵農園	熊本の阿蘇谷から「食卓の主役になれるお野菜」をお届けします。ハウス栽培で重油ゼロへ！阿蘇の自噴水・温水を活用してSDGs農業経営に取り組んでいます	代表取締役 牧田 隆
⑥ 川内ヤクルト販売グループ	人も地球も健康に ～ヤクルト、化粧品、レンタルマップ・モップ等をお届け～ 川内ヤクルト販売(株)・ヤクシン商事(株)・中央福岡ヤクルト販売(株)	ヤクシン商事株式会社 代表取締役 影山 裕樹
⑦ 駅市 薩摩川内	薩摩川内のお土産専門店(川内駅正門口) ～故郷の味と香りが勢ぞろい!!～ 福岡さつま川内会向けきばいやんせ薩摩川内 ☘️ご利用特典サービス加盟店です	(株)薩摩川内市観光物産協会 代表取締役 井龍 大
⑧ 世界自然遺産を目指す 日本三大川あらし 川内川あらし	絶景！川内川あらし ～晩秋から早春にかけて見られる自然現象～ 川内川河口に向けて、川沿いに霧がゆったりと流れる神秘的な光景は必見です	世界自然遺産を目指す川内川あらし協議会 理事 今吉 美智子

<p>新役員が選出されました (任期2年) ご協力宜しくお願いします</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>役員</th> <th>氏名</th> <th>出身地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>会長</td><td>新留 育郎</td><td>矢 倉</td></tr> <tr><td>副会長</td><td>香月 揚子</td><td>平 佐</td></tr> <tr><td>副会長</td><td>松本 信夫</td><td>宮之城</td></tr> <tr><td>副会長</td><td>影山 裕樹</td><td>花 木</td></tr> <tr><td>代表幹事</td><td>窪田 早成</td><td>樋 脇</td></tr> <tr><td>副代表幹事</td><td>中川 幸尚</td><td>甕 島</td></tr> <tr><td>婦人部会長</td><td>河原 珪子</td><td>中 村</td></tr> <tr><td>シニア部会長</td><td>川添 宏市</td><td>隈之城</td></tr> <tr><td>幹 事</td><td>牧田 隆</td><td>出 水</td></tr> <tr><td>幹 事</td><td>井上 哲</td><td>天 辰</td></tr> <tr><td>壮年部会長</td><td>森田 友次</td><td>向 田</td></tr> <tr><td>幹 事</td><td>城後 精一</td><td>平 佐</td></tr> <tr><td>幹 事</td><td>寺脇 之博</td><td>御稜下</td></tr> <tr><td>幹 事</td><td>鈴木 徳之</td><td>西向田</td></tr> </tbody> </table>	役員	氏名	出身地	会長	新留 育郎	矢 倉	副会長	香月 揚子	平 佐	副会長	松本 信夫	宮之城	副会長	影山 裕樹	花 木	代表幹事	窪田 早成	樋 脇	副代表幹事	中川 幸尚	甕 島	婦人部会長	河原 珪子	中 村	シニア部会長	川添 宏市	隈之城	幹 事	牧田 隆	出 水	幹 事	井上 哲	天 辰	壮年部会長	森田 友次	向 田	幹 事	城後 精一	平 佐	幹 事	寺脇 之博	御稜下	幹 事	鈴木 徳之	西向田	<p>福岡さつま川内会総会・交流会と天神ビッグバン視察で感じたこと</p> <p>総会と交流会に、川内商工会議所から、橋口会頭、上村専務理事と事務局3名で参加しました。多くの会員の方々が出席されての開催に、故郷への熱意が感じられ、特に、会員情報の発表など大変興味深く聞かせて頂きました。</p> <p>交流会の後、商店街視察として天神ビッグバンの取組みをさつま川内会役員の方々の案内で視察しました。都会的でデザイン性に優れたビル等も魅力的でしたが、私達は旧大名小学校を活用したスタートアップ支援施設 Fukuoka Growth Next に関心があり、川内にもこうした新しい起業家を生み出すような施設が欲しいと話をした所でした。勉強になりました。</p> <p>薩摩川内市では、令和5年度ウイズコロナとして、恒例の川内川花火大会を初め、各イベントも盛大に開催できるように準備して参りますので、皆様方にもぜひ帰省して頂き、一緒に楽しんで頂けたら有難いと思います。</p> <p>また、故郷特産品販売協力としてのふるさと納税の情報発信と利用推進等、会議所としても取組みを強化していきますので、引き続きご支援ご協力を宜しくお願いします。</p> <p>今回、このような素晴らしい機会に恵まれ情報交換が出来た事に感謝します。(2023.5.9)</p>	<p>川内商工会議所 事務局長 植村 浩隆</p>   <p>↑高層ビル建設ラッシュの天神↑</p>
役員	氏名	出身地																																													
会長	新留 育郎	矢 倉																																													
副会長	香月 揚子	平 佐																																													
副会長	松本 信夫	宮之城																																													
副会長	影山 裕樹	花 木																																													
代表幹事	窪田 早成	樋 脇																																													
副代表幹事	中川 幸尚	甕 島																																													
婦人部会長	河原 珪子	中 村																																													
シニア部会長	川添 宏市	隈之城																																													
幹 事	牧田 隆	出 水																																													
幹 事	井上 哲	天 辰																																													
壮年部会長	森田 友次	向 田																																													
幹 事	城後 精一	平 佐																																													
幹 事	寺脇 之博	御稜下																																													
幹 事	鈴木 徳之	西向田																																													

薩摩川内市議会 議長に大田黒氏、副議長に中島氏を選出


令和4年第5回臨時会初日(11月16日)、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に大田黒博氏、副議長に中島由美子氏が選出されました。福岡さつま川内会の総会・交流会には、毎回、議長さん・副議長さんにご出席賜り、市政の現状と展望などお話し頂き、福岡に在住する会員から見た薩摩川内市に対する感想や意見交換をさせて頂いています。そこで本号では、薩摩川内市議会の姿勢取り組みについて概要をご紹介します。

議長・副議長ご挨拶 ～就任にあたっての3つの抱負～


活発な議論と、市民に分かりやすい市議会を目指します

- 議会機能の充実と深化のため、「政策分野毎ごとの議員研修会の定期開催」「地区コミュニティ協議会や各種団体、各支所職員との意見交換を通じた地域問題の解決」「市当局から提案される議案に対し各議員の理解を深め充実した議論が行える仕組の構築」に取り組みます。
- 本市が策定した「人口減少対策の一体的な推進」「持続可能な社会の実現に向けたSDGs推進」「グローバル化への対応」「若者・子育て世代も魅力を感じるまちづくり」の4つの方針に基づく「第2次薩摩川内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について当局と前向きな議論を重ね、理想とする薩摩川内市の姿の実現に取り組みます。
- 本年10月の「燃ゆる感動かごしま国体」のホッケー、バスケット、ウェイトリフティング、軟式野球、空手の競技開催地として、市民の皆さんと共におもてなしの心で大会を成功に導きます。

議長・副議長の重責に身の引き締まる思いですが、精一杯任務を全うする覚悟でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。(市議会だより新春号：議長・副議長就任ご挨拶より抜粋して転載しました)



大田黒議長



中島副議長

薩摩川内市の政治経済の変遷と沿革

肥沃な川内川流域には旧石器時代から人々が住み着き、狩猟漁猟中心の縄文時代を経て弥生時代には稲作が広まり、古墳時代には有力な権力者がいたことが薩摩川内市に点在する遺跡から推察されます。

大宝律令が施行された翌年の702年、高城郷に薩摩国府が設置され、764年には大伴家持が薩摩国の守に任じられ、奈良時代末期には薩摩国分寺が建立されたと推定されます。

以降、島津氏分家の奥州家(大隅)の居城があった鹿児島に薩摩国の中心地が移る室町時代応仁の乱の頃まで、川内は南九州の政治・経済・文化の中心として発展してきました。

今の薩摩川内市は、昭和4年の隈之城村・平佐村・東水引村が合併し川内町が誕生した事に始まります。当時の人口は3万人。昭和15年の市制施行に伴い川内市(鹿児島市に次ぎ県内2番目)となり、昭和26年水引村、同31年永利村と高江村、同32年下東郷村、同40年高城町を合併、平成16年平成の大合併で、1市4町(川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町)と甕島4村(里村、上甕村、下甕村、鹿島村)が合併し人口10万人の薩摩川内市が誕生、新市まちづくり計画がスタートしました。

その過程において、薩摩川内市議会は、合併の目的に添い、合併の効果を出すべく自らが組織改革(議員定数は合併前130名→現在26名)を行い、市民の声に耳を傾け、議会と行政が独立した立場で互いに牽制・協力しながら、住みよい豊かなまちづくりの推進と市民生活の向上に建設的に取り組んでおられます。(新留執筆/参考文献：川内市発行「わがまち川内」ほか)

薩摩川内市議会の概要(令和5年4月1日現在)

- 議員所属会派の構成 → 議員数25名(定数26名・うち欠員1名)
 - 創造薩摩川内(10人) 創和会(4人) 自民創志会(4人) 新創会(2人) 公明党(2人) 令和清流会(2人) 会派に属さない議員(1人)
- 総人口91,868人/世帯数46,333/男性44,618人/女性47,250人
- 各委員会の構成と役割
 - 議会運営委員会(9人) → 議会運営を円滑に行うために協議、調整を図る目的で設置
 - 常任委員会 → 議案や請願・陳情を審査したり市の事務を専門的に調査する目的で設置
 - 総務文教委員会(8人) 生活福祉委員会(9人) 産業建設委員会(8人)
 - 川内原子力発電所対策調査特別委員会(10人) → 原発問題の審査や調査を目的に設置

コミュニケーションボード

法人会員ご紹介



Creating the future, Safety & Skill - 安全と技術が未来を拓く -
株式会社 川北 電工

創業78年 電力と通信システムで、地域と共に豊かな未来を実現する



当社は、昭和20年9月創業以来、常に「誠実と信頼」をモットーに電気・通信設備工事業に関して幅広い分野で確かな技術を生かし、地域社会と共に成長してまいりました。これもひとえに、川北電工に関わりを持っていただいた**全ての皆さまのお支えあればこそ**と、ここに改めて深く感謝申し上げます。

私どもは、経営のこころである「人間愛」に思いを致し、企業理念である「**私達の幸福・会社の成長・社会への貢献**」を追求するために、使命感、責任感、高い志をもった人間性豊かな技術者集団として安全に品質の高い設備を永続的に構築し続けるべく、全てのことに誠実に取り組んでおります。

設立	昭和20年9月	資本金	145百万	社員数	326名
会長	田中 憲夫 (取締役)	社長	田中 陽一郎 (代表取締役)		
本社	鹿児島市東開町	本部	薩摩川内市矢倉町		
拠点	福岡支店、関西支社、東京支社、宮崎・熊本・鹿児島県内 (6ヶ所) の営業所				
事業内容	①配電 ②送電・発電 ③電気設備 ④情報・通信設備				



また、今日では電力の自由化や発送電分離、情報社会の成熟化など、私どもを取り巻く事業環境は急速な変化を見せております。その変革の波に遅れることなく、どのような事業環境にも対応できるように日々努め、更なる**社会インフラの構築**に貢献してまいります。これまで培ってきた経験と高い技術力を発揮し、豊かな社会づくりに貢献できるよう、努力を続けてまいりますと考えております。

皆さまには、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年4月28日 代表取締役社長 **田中陽一郎**

川北電工の社員さんは、岬の突端や山奥のポツンと一軒家にも電線を張って光を灯し、台風による停電発生時には昼夜を問わず復旧作業に献身的な働きをされています。はんや祭りや大綱引には川北パワーで参加して盛り上げ、信号清掃やロードクリーンで地元美化にも努めるなど地域貢献活動に積極的に取り組んでおられます。

田中憲夫会長は、川内商工会議所会頭など多くの要職を歴任され、川内港の振興、中国常熟市や韓国昌寧郡との友好交流促進、大綱引の保存継承等に貢献され、令和3年に薩摩川内市名誉市民の称号を贈られました。(写真は川北電工さんのHPより転載)

新法人会員ご紹介

薩摩川内市観光物産協会(株)

薩摩川内市・川内商工会議所・薩摩川内市商工会・鹿児島銀行などが共同出資
観光・物産・こしきしま事業を展開 博多駅や福岡天神でも物産展を開催!!

この度、法人会員として入会いたしました。福岡さつま川内会の皆様には、これまでイベントや催事など大変お世話になっており、誠にありがとうございます。当社は、薩摩川内市の**観光誘客と物産事業を扱う地域密着型の商社**として、2013年4月に設立しました。地域の方々と連携しながら観光地域づくりや、特産品の販路拡大を行っております。今後とも宜しくお願い致します。(代表取締役 井龍 大)

■さつませんだい観光局 (TEL: 0996-25-1140) 日祝休

市内のホテルや**甌島旅行**の手配、**体験商品**の販売を行っています。個人や団体での薩摩川内市へのご旅行に是非お問合せください。甌島は7月中旬から8月上旬にかけてカノコユリなどの花の見頃。トレッキング、釣り、〇〇作り等の体験も充実し、景色だけでなく食や体験が楽しめます。大谷翔平選手が被る兜を制作した**甲冑工房丸武**や**入来武家屋敷**、ベッコウトンボの飛ぶラムサル条約指定湿地**蘭牟田池**もおススメ!!



甌島カノコユリ群生

■駅市薩摩川内 (TEL: 0996-20-7800)

JR新幹線川内駅 1階

川内名物**ちんこだんご**・**つけあげ**・**焼酎**等のお土産専門店です。市内事業者の商品を多数取り扱っています。甌島の「**つけあげ実演販売**」もご紹介します。福岡さつま川内会員様向けの「**割引特典サービス**」もご利用できます。帰省の際は是非お立ち寄り下さい。またお取り寄せやご友人への贈り物も電話・インターネットでご購入頂けます。ネットショップのサイトは、「**駅市薩摩川内**」で検索してください。



駅市 薩摩川内 店内風景

日本三大川あらし 川内川あらし

川内川あらしを地域・観光振興に資する地域資源、薩摩川内市の文化として残したいと**世界自然遺産を目指す川内川あらし協議会**が3年前に設立され活動を続けておられます。交流会に当協議会の今吉理事が参加され、**川内川あらしのお話**をして下さいました。その一部をご紹介します。

川内川流域の内陸部で発生した霧はゆっくりと下流に流れ出し、市街地付近では霧が広範囲に広がりさらにゆっくり流れます。市街地付近から下流にかけての地形は山で狭くなるため、霧は狭い場所に集まって流れが次第に速くなり、河口近くになると**嵐のような流れになります**。更に、霧は冷たい空気を伴っているため、暖かい海水と混ざる河口付近では**蒸気霧(けあらし)**が発生し、河口から数kmにわたって扇状に海に広がります。この神秘的な光景を**川内川あらし**と呼んでいるそうです。



見学スポット	月屋山(港町)	霧がダイナミックに流れる様子を間近で楽しめます	○10月～3月 ○朝5時～8時ごろ ○寒い日で、晴れていて、風の弱い日の朝に ○雨の日翌朝は可能性は高い
	せんだい宇宙館(永利町)	市街地付近に流れ込む雲海を楽しめます	
	川内港高速船ターミナル	水面から蒸気が沸く蒸気霧(けあらし)が見られます	
	清水ヶ丘公園(宮里町)	展望台から見ると雲海の上に浮かぶ山々が楽しめます	
	柳山(高江町)	河口に流れ込む川内川あらし全体の様子を楽しめます	

新会員ご挨拶

鹿児島弁の通じるこの会に参加して安心しました。将来は**福岡で磨いたスキルや知識を川内に持ち帰りたい**

藤井かおりさん(田崎出身)

19さんのコラム **ガラッパ座**

憶えちよいやあーけ?かごんま弁



1982年に川内市で生まれ、祖父の代から鉄工所を営む実家で育ちました。中学校と高校を卒業後、福岡に移り住み、現在まで20年以上を過ごしています。20代の私は、アルバイトをしながら自由に生活を楽しんでいました。自立心が強かったため、厳しい実家の環境とは異なり、自分自身で様々なことを決め、選択してきました。30代になると、携帯ショップでの就職を機に、会社員としての経験を積んでいきました。店長職まで昇進し、収入面や働き方、父の自営業の考え方など様々なことを考えるようになり、30歳の時に住友生命に入社。保険業界に人生の新たなページを切りました。現在はファイナンシャル・ジャパンで**保険代理店**として独立し、**相続・事業承継・介護**など、自分自身の経験を活かせる分野に力を注いでいます。また、**相続診断士**の資格も活かしながら、相続や事業承継に関するアドバイスも提供しています。

私の一番の理解者である父は、今も川内で仕事をしています。故郷である川内で役立ちたいという思いから、現在は宗像市で**セミナー**を行いながら、将来的には**川内にスキルや知識を持ち帰りたい**と考えています。趣味はゴルフで、これまで多くの人脈を広げることができました。現在は「**経営者の手取りを増やし隊**」の一員として、**社会保険料の削減**についてのアドバイスを行っています。私自身が福岡で育ったにもかかわらず、この会で鹿児島弁が通じることは安心でした。福岡さつま川内会の仲間に入れて頂き感謝しています。今後も、皆さんとの交流を大切にしていきたいと思っております。お引き立てのほど、よろしくお願い致します。(2023.5.12)

♪ 茶わん蒸しのうた ♪
うんだもころ(あらまあ) いけなもん(どうしたことか) あたいげどん(わたしのところの) 茶碗(なんだ) 日に日に三度も 洗るもん(せば(あらいますので) きれいなもん(ごわんさ) 茶碗(ついた虫(じゅろかい) め(洗い物(かご) など 蹴(あるく) 虫(じゅろかい) ま(こてげん(ねこ(っ)じゃ) ワッハッハ



よく聞かされた格言
・泣こかい、跳ほかい、泣こよっかひっ跳べ!
⇒泣こつか、跳ほつか、泣くより思い切り跳んで前に進みなさい
・ひとりこちゃ、わがこっ! ⇒他人に起きた事でも、いつ自分に起きるか分からないので気を付けましょう。
・まっけは 誰いでんあつたいが。気いずんな!
⇒間違いは誰でもある。いつまでも気にしないで先へ進め!

【京セラ/稲盛和夫さんの名言】⇒ 世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは失敗はない。あきらめた時が失敗である。

福岡さつま川内会の法人会員をご紹介します

焼酎の源流 醸して百十年
山元酒造 株式会社
代表取締役社長 山元隆功
通販 godai-eshop.com

Creating the future, Safety & Skill - 安全と技術が未来を拓く -
株式会社 川北 電工
代表取締役社長 田中 陽一郎
本社 鹿児島県鹿児島市東開町4番地79 TEL 099-267-0061
川内本部 鹿児島県薩摩川内市矢倉町4311番地1 TEL 0996-25-1100

甌島から自然の恵みをお届け
こしき海洋深層水 株式会社
南国殖産グループ
通販 koshiki-dsw.co.jp

観光・特産品のことなら
株式会社薩摩川内市観光物産協会
土産専門店 : 駅市薩摩川内
下甌島支店 : 0996-24-8114

暮らしを支えるエネルギー産業
荒木商事 株式会社
代表取締役社長 荒木貞行
福岡事務所 092-710-5135

解体機レンタル/販売/修理
油機エンジニアリング 株式会社
代表取締役社長 牧田尚起
大宰府市 www.yukieng.co.jp

利便性・快適性・機能性を備えた
シティ&ビジネスホテル
S CUBE HOTEL
by SHIROYAMA
川内駅東口 0996-25-5225

人と企業と故郷を応援
HOSJAS企画合同会社
CEO兼代表 新留育郎
福岡市 <https://hosjas.com>

コミュニケーションボード

気の赴くままに絵を楽しむ **泰平 尚信さん**（宮内出身） **続けるほどに書の奥深さを知る** **泰平 恵子さん**（尚信氏奥様）

平成2年(1990)4月、私の職場(商工中金)が完全週休二日制になりました。週に2日も休みができて、そのうち1日は何か趣味を持とうということで、NHKカルチャーの**油絵入門**に入りました。講師は九州産業大学の宇田川教授で、学生を指導するような楽しい教室でした。そのうちバブルがはじけ会員が少なくなるとともに、先生も学長に就任され講師をやめられましたので私もやめました。その後数年たってあちこちの絵画教室を経験しましたが宇田川教室ほどの楽しさがなかったため長続きしませんでした。

やがて65歳になり全ての仕事から引退したのち、城南区別府公民館の**水彩教室**にたどり着きました。この教室は先生が自由に描かせてくれましたので楽しく、又、2年に1回のグループ展も有意義でした。
ところが、コロナになりこの会ももたなくなりました。この頃は気が向いたとき画集から気に入った絵を模写したり、かつて勤務していた広島県福山市鞆の浦の写真をもとに描いています。(掲載している「雲崗5窟 如来像」及び「鞆の浦 仙酔島」はこの頃の作品です。いずれも色鉛筆で描きました)

80歳代に入りいよいよ人生の最終ステージ。この頃は故福岡名誉教授のお勧めで九州学士会所属の**読書会**に出席しています。この会をご縁に、去る3月から**オペラ(を聞く)会**にも誘われました。何れも月1回で良い刺激を受けますので、これらが生活のリズムになっています。



主人の2回目の転勤先の広島県福山市で、同じ舎宅の方に誘われて書道をはじめました。次女が小学校入学前で新しいことをはじめるのにいいチャンスだと思って**書道教室**に入会しました。福山市から佐世保市、福岡市と移り住み、鹿児島市在住の高齢であった両親の都合などで少しのブランクはありましたが、今まで続けることができて幸いでした。**毎日書道展**や**独立書道展**などに年に数回は大きな作品を出品しますが、普段の教室では半紙に臨書しています。

続けるほどに書の幅広さ、奥深さを感じています。6年前に、鹿児島で長年かな書道が続けている妹と**姉妹展**ができたこともいい思い出になりました。家族が皆元気で、そのお蔭で私が今まで書道をやってこられたことに感謝しながら、これからも色々な年代の友人達と楽しく続けていきたいと思っています。(2023年5月5日)



福岡市書道協会展「純心」

桑樹展「開花」/ご夫妻

新会員ご挨拶 **久永 健志さん**（鹿児島市出身） **新役員ご挨拶** **横路 健一さん**（飯島出身）

お世話になります。西日本新聞社の久永健志と申します。私は1969年、鹿児島市生まれ。小学5年生から3年間、大口市（現在の伊佐市）にいましたが、これを除くと高校卒業まで鹿児島市で暮らしておりました。東京で大学時代を過ごし、福岡に本社がある**西日本新聞社**に入社。これまで記者として大分、長崎、東京、中国・北京などを転々とし、2年前から全く畑違いの秘書部におります。人生の大半を鹿児島以外で過ごすことになりましたが、年齢を重ねるにつれ故郷への思いはますます強くなるように感じます。



この度、福岡さつま川内会の幹事をさせて頂くことになりました横路(よこじ)と申します。私は飯島の上飯で生まれ、高校を川内、大学を宮崎で過ごし、そして**富洋設計(株)**に就職いたしました。11年間の東京勤務を経て、福岡に転勤して24年目になります。弊社は、ライフラインである上下水道及び農業土木の設計会社で、主に公官庁から発注される仕事をさせて頂いております。さて、私と福岡さつま川内会とのご縁は、新留会長の甥が弊社に在籍している事から始まります。



私と薩摩川内市の関係ですが、父親がかつて**南日本新聞社**に勤めており、1990年代半ばの一時期、川内で働いておりました。このため、この時期に私が帰省する先は川内でした。街中を大きな川が貫く歴史と情緒にあふれる川内がとても懐かしく思い出されます。入会を機に再び訪問してみたいと思います。これから宜しくお願ひ申しあげます。

最初は、川内高校卒業生という事で**福岡可愛山同窓会**に参加させて頂き、初めてお会いした新留会長に暖かな雰囲気でお迎えいただきました。また、飯島の土地登記の件では、代表幹事の窪田さん大変お世話になりました。

最後になりますが、私と同様に会員の方全員がふるさと薩摩川内のために、少しでもお役に立ちたいという純粋な気持ちであると思います。微力ではありますが、皆さまのお力もお借りしまして、福岡さつま川内会のために頑張っておりますので、これまで同様、ご支援ご協力を宜しくお願ひいたします。

(お薦め) 西日本新聞朝夕刊のほぼ全ての記事がスマホ・パソコンで読み放題のデジタル版【**西日本新聞me**】は、経営者やビジネスマンの皆様にお薦めです。

西日本新聞社は昨年**創刊145周年**を迎えた約45万部を発行する**屈指のブロック紙**。久永さんはその**秘書室長**さん。明治10年、西日本新聞の源流となる筑紫新聞は西南戦争の戦況を緊迫した筆致で報じています。記者が現地取材し、読者の疑問解消や地域課題の解決策を考える**あなたの特命取材班**は全国的に高い評価を得ています。

富洋設計(株)は、1972年設立の上下水道・工業用水道・農業土木・河川改修・その他利水施設に関する調査・計画・設計及び工事監理する**水と環境の総合建設コンサルタント会社**。本社は東京、支社は九州と北海道、営業所は九州(鹿児島他7ヶ所)と関東(9ヶ所)にあり、横路さんは**取締役九州支社長**。当社の技術は多方面から絶大の信頼を得ており、九州では、北九州市苅田町二崎浄水場や枕崎市知覧最終処分場等多くの実績があります。

新役員ご挨拶 **私の人生はボートの縁。“建設”“海外・国際”がキーワード** **高柳 健一さん**（隈之城出身）


私は昭和29年生まれで隈之城小学校、南中を卒業しました。小学校5年生の時に前回の東京オリンピックだった、と言えは年代感がわかると思います。あの時は**隈小鼓笛隊**の一員としてピアノ(ハーモニカピアノ)を演奏し、矢倉の田んぼの国道3号線を走る**聖火ランナー**を迎えました。曲は「錨を揚げて」だったかな。ランナーは尾白江の道岡さんだったような。カッコいいでした。家は隈之城駅前の**たばこ屋の高柳商店**。霧島部落。駅裏の澱粉工場跡、沈殿池が埋め立てられ鹿児島実業川内分校ができました。

昭和47年川高を出て京都大学文学部(人文地理学科、探検部に入るつもりでした)受験に失敗し京都駿台で浪人生活、翌年**東大ボート学部?**に入学しました。5年間それこそボート三昧の生活。成績はインカレイト5位が最高でした。ただ4年の主将時に新人勧誘に力を入れた後輩達が4年時、全日本選手権エイトで優勝してくれました。東大はその後4連勝、世界選手権にも3年連続出場、モスクワオリンピック時も優勝し日本代表になりましたがソ連のアフガニスタン侵攻で西側はボイコットし出場できませんでした。**私の人生はボートの縁**。就職も20年いた間組、5年いた大島造船、10年いたサーベラス(国際興業、西武鉄道、グッドウィルのM&A)、今の**M Jテクノロジー**もボートの縁です。

黒部ダムに憧れて入社した**間組**では(私は事務屋ですが)土木の大現場(北陸有峰発電所、東京水元ポンプ所、マレーシアケネリダム発電所、ネパールクリカニトンネル発電所)を経験できました。海外もマレーシア現場2年(ジャングル)、ネパール現場3年(山岳)、ニューヨーク営業所3年(マンハッタン)、東南アジア支店2年(シンガポール)と経験できました。長崎の**大島造船所**(大阪造船、住商、住重が株主)は今日本3位の建造量を誇る造船所ですが、その急成長時の経営を社長室長として目の当たりにすることができました。間組時代、大島造船所時代の先輩や仲間とは今でも仲良くおつきあいさせて頂いており現在の仕事の重要なネットワークとなっております。

かのように私の人生はどれも**“建設”**と**“海外・国際”**がキーワード、ライフワークになって来たような気がします。政治も国内のことにはあまり興味なく、外交・国際関係、安全保障の記事に目が写りがちです。**M Jテクノロジー**は“日本語のできる”“ミャンマー人”“エンジニア”“派遣”を生業にして今年創立10年目を迎え、現在全国で400人、九州で100人のエンジニアを派遣するまでに成長しました。内訳はザッと、土木:建築:設備(電気、空調):その他(造船、IT、製造業) 20:30:30:20、現場(施工管理など):内業(設計、積算、計算)が70:30、男:女が40:60です。九州は今一番元気がありますね。天神ビッグバンのビル群、熊本のJASM、諫早のソニー、羽犬塚のローム工場などに出ています。鹿児島、都城、八代にもうちのミャンマー人がいます。今年70歳になりますが、建設(汗仕事)・海外というライフワーク観にマッチしているのもう少し気張ろうかと思っています。なお、写真は尾白江の田んぼです。昨年、親父が残してくれた休耕田を再耕して**米作り**を始めました。市比野の川高同期の山元康文君が機械を貸して手伝ってくれます。(2023.5.11)





「敬天愛人」

同郷の絆で親睦を深め、持ちつ持たれつ 互いに助け合い
明るく、元気に、ともに成長しよう！ 故郷・薩摩川内を応援しよう！

